れきみん
となん歴民だより
vol.76
令和６年３月 31 日発行
盛岡市都南歴史民俗資料館

■ひなまつり展が始まりました

当館では、令和６年３月 16 日（土）から４月 14 日（日）まで、市民参加展「鎌田コレクション　第 14 回旧暦ひなまつり展」を開催しています。

毎年旧暦の桃の節句（令和６年の場合、現行の新暦では４月 11 日にあたります）にあわせてひな人形や花巻人形を展示します。かわいらしい人形や小物から春を感じることができます。ぜひお越しください。

『源氏物語』をモチーフにした人形

■1,000 人以上の子どもたちにご利用いただきました！

１月～２月にかけて、高松小学校、飯岡小学校、津志田小学校（来館順）のみなさんが昔のくらしを学びに来てくれました。気候に恵まれたとはいえ冬の寒さの中の見学でしたが、元気いっぱいに学習していました。そのほか５校から出前授業のご依頼がありました。

資料館には子どもたちからお礼の手紙や感想文が続々届き、職員一同の励みになっています。

今年度も多数の学校に授業で当資料館をご活用いただきました。後日「もっと昔の道具を見たい！」と家族で訪問してくれる子どもさんが多く、今年度は子どもの利用者数が 1,000 人を超えました。皆様のご支援に深く感謝いたします。次年度もよろしくお願い申し上げます。

頂いた手紙や感想文を掲示しています

『となん歴民だより』バックナンバー（PDF 形式）は、
ウェブでご覧いただけます。
盛岡市公式ホームページの検索窓で「広報ID」を選択、
「1000860」と入力し「表示」をクリックしてください。

検索　広報ＩＤ
1000860　検索

となんの民話さんぽ ４　荒鉄（あらてつ）の釜（かま）

都南の民話と、
民話にまつわる史跡
などをご紹介します

江戸時代の終りごろ、三本柳出身の荒鉄という力士がいました。幼少時から人並みはずれて力が強く、はって歩くころには重い石臼につないでおくと、その石臼をするすると引きずるほどでした。少年のころ、囲炉裏（いろり）で使う鉄の火箸（ひばし）を縄のようにより合わせて親にしかられました。青年になってから、北上川で魚とりをして家業を手助けしていましたが、漁用の小舟はもちろん、渡船場（とせんば）の小船もひとりで背負って平然としていたとのことです。

南部の殿さまのおかかえ力士として認められるほどでしたが、あるとき、さらに技を磨こうと江戸へ修業に出ました。道中、宮城と福島の境あたりで、荒鉄は巨石を軽々と持ち上げ空中高くクルクル回すという離れ業を演じました。驚いた土地の人々はその巨石を「荒鉄の手車石」として大事にしたと伝えられています。

数年後、荒鉄は帰郷しましたが、顔色が青くやせ衰えていました。怪力をねたむ悪い力士に毒を盛られたとのことで、それを聞いた三本柳の人々はおおいに荒鉄をいたわりました。

参考文献：都南村歴史民俗資料館『都南の民話』1985 年

民話ゆかりの文化財　荒鉄（あらてつ）の釜（かま）

5升程度入る鉄の坊主釜（つばなし釜）。3升（1升は約 1.8 リットル）飯ぐらいはペロリと平らげたというほど大食漢（たいしょくかん）であった荒鉄が、飯を炊いたりおかゆを煮たりした釜と伝えられている。

荒鉄の釜（都南歴史民俗資料館にて展示）
盛岡市湯沢１-１-３８
岩手県交通バス停「湯沢県営住宅前」下車
徒歩 30 分

見て　さわって　動かして　深まる学習

～昔のくらしを知る　盛岡市都南歴史民俗資料館の貴重な収蔵品～

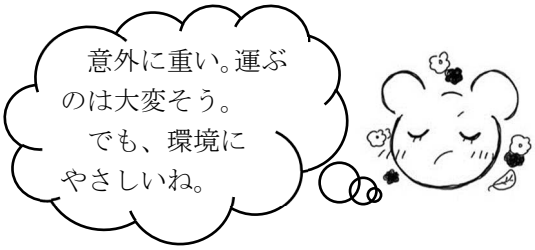
第４回　徳利（通徳利（かよい））

当資料館は、今年度 1,000 人を超える小学校の皆さんにご利用いただきました。学習後の感想の中で、多くのお子さんが取り上げてくれた民俗資料の中に徳利（通徳利）があります。

通徳利は、酒屋が小売り用容器として貸し出した陶磁製の徳利で、貸徳利、貧乏徳利とも言います。江戸時代中期に都市部で使われ始め、明治期になると農山漁村にまで広まりました。以降、大正末期にガラス瓶が普及するまで、酒を始め、醤油や油などを入れる容器として頻繁に利用されました。

通徳利の大きな特徴は、表面にたくさんの文字が書いてあることです。店名・屋号・酒銘・地名・電話番号などが書かれており、お客さんが持って行き来したのでお店の宣伝にもなりました。通徳利のように、容器を再利用して買い物をする方法は、近年、SDGｓ（持続可能な開発目標）に関わる取組としても注目されています。

子どもたちは、徳利を手に取ることで昔のくらしをより身近に感じることができました。昔のくらしを知ることは、今後の私たちの生活のあり方を考えるよいヒントになりそうです。



（参考文献）岩井宏實監修『〔絵引〕民具の事典【普及版】』河出書房新社 2017

となん歴民だより　vol.76
令和６年３月 31 日
盛岡市都南歴史民俗資料館　発行

岩手県盛岡市湯沢１－１－38（**都南つどいの森**を目印にお越しください）
TEL/FAX 019-638-7228
時間 9：00～16：00　**休館日** 月曜日(祝休日の場合は翌平日)　**入館料** 無料